

令和8年度ふれあいトーク議事録（朝日丘地区）

日 時 2026/8/24 19:00～20:24
場 所 教育文化センター
出席者 23名
市長、政策統括監 総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、
防災・危機管理監、消防監理監、地域振興課、地域担当職員
進 行 19:00～19:02 出席者紹介
19:02～19:04 市長あいさつ
19:04～19:38 市政の概要について（市長説明）
19:38～20:21 意見交換
20:21～20:24 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	■氷見駅前を核としたまちづくりについて 駅前を核としたまちづくりを民間も含めて提案されていると聞いている。氷見の玄関口であり駅前周辺の整備は大事だと思っているので、今後とも注視したい。 旧市民会館跡地、教育文化センター、旧南大町保育園や青少年ホーム等、現状どのように活用されていて、今後どのように併合されていくのかも含めて大きな核になる施設がどうなるのか。	■企画政策部長 氷見駅を核としたまちづくりについて、対象エリアを東西では海岸線から朝日山、南北では湊川から仏生寺川として、どういうまちづくりをするか構想を検討しているところである。発言のあった施設もエリアに入っている。重点エリアを氷見駅周辺として考えることとしており、若者や女性、氷見駅利用者、全国からもアイデアを募集して、皆さんと一緒に考えながら、氷見駅を核としたまちづくり構想を今年度中に策定したいと考えている。
2	■市道(朝日公園2号線)改良工事の進捗状況について 旧誉一山荘から氷見高校の裏を通して見晴らしの丘へ繋がる市道(朝日公園2号線)改良の進捗状況はどうなっているのか。	■建設部長 昨年度測量が終わり、今後用地交渉を進めていく。一部用地に二重登記が発見され、県を通じて国に判断を仰いでいる。これが整えば用地交渉を進めていく。
3	■地籍調査後の公図について 朝日町内からふれスポの辺りをとって十二町まで3平方キロの範囲について昭和40年代か50年代に地籍調査事業が入っている。現在に至るまで承認されていないと思うが、参考図としてだしてもらえないか。	■建設部長 昭和56年度に調査したもので、承認されていない。手続きについては後日確認させていただき対応したい。
4	■旧市民会館跡地利用について① 旧市民会館跡地の当初計画について、2～3年前に1年をかけてワークショップ等で議論をした。地震があって凍結したことはいいが、白紙撤回は住民の意見が無視されたように感じる。今後どのように進めていくのかわかる範囲で教えてほしい。	■教育次長 今年度開催の教育文化センター等利活用検討委員会やワークショップにおいても、はじめに以前のワークショップの内容を共有し、その意見も踏まえて何が必要とされているか再度話し合いを行い、旧市民会館跡地も含めた改修コンセプトを考えていく。地震等によるニーズの変化もあり、垂直方向避難場所として利用できるような防災機能強化も含めて、ワークショップや利活用検討委員会等を開いて検討している。 ■市長 全く白紙でリセットではなく、議論されたことを踏まえて、どう更に新しくしていくかを考えている。ご理解いただきたい。
5	■旧市民会館跡地利用について② 宝くじ助成事業を活用した令和9年度公民館新築事業を考えている。南公民館利用を検討したが、駐車場がなく老朽化している。駐車場を備えた公民館が旧市民会館跡地に必要ではないか。曳山を展示する場所という構想を止めたのは非常にいいことだと個人的には思っている。朝日南部地区は保育園から高校まであり教育環境が良く働く若い人に選ばれている、一方で高齢者の居場所があまりない。今の公民館は旧図書館の2階にあるが高齢者は上がるのも大変、そのため高齢者にも喜ばれる平屋建ての公民館にしようと考えている。	■教育次長 意見として今後の検討に活かしていく。

6	■空き家等の対策について 地主が不在で管理されていない空き家や土地がある。地域問題に効果的な対策等あればアドバイスいただきたい。	■企画政策部長 本来は所有者がしっかり管理して、いらなくなったら解体するのが基本である。市として、そういった土地を自治会が管理することを条件に解体する事業がある。その他に相続人もいなくなって誰も所有者がいないものを法に基づいて、市で解体する体制も整備した。既に危険な空き家も増えているので、市全体の調査をし、現状を把握して優先順位をつけながら少しずつでも対処していきたい。
7	■教育文化センターの利用について 教育文化センター4階を自治会の総会等で使用するのに貸してもらえないか。	■教育次長、政策統括監、総務部長 使用できない。芸術文化館等を利用していただきたい。
8	■外国人のごみ出し方について 気づいたら空き家に外国人が住んでいる。市はどういう風に考えているのか。ちょっと聞きたいなと市役所へ行くと1年で担当者がかわっている、せめて3年間は担当者を変えないでほしい。「ごみの出し方」の英語版はないのか。外国人は日本語版だけでは理解できなく分別ができていない。	■市民部長 外国語版の「ごみの出し方」は作成していない。担当課と相談し、検討していきたい。
9	■外国人のマナーについて 外国人はごみ問題だけではなく、交通ルール等の他の問題もある。市で全体を把握する仕組みを作らないとだめ。非常に悪いルール・マナーについて自分の国がそういう状態だから悪いと思ってないかもしれない、ルールをきちっと認識してもらるようにしなければいけない。市としてルールづくりをして答えをだしてほしい。	■市長 外国人と一緒に気持ちよく暮らしていくためにはどうしたらいいかを今からしっかりと考えていかないといけない。これからも外国の方が増えていくと思っているので、ご指摘のあった点も含めて、対応できることからしっかりと対応していきたい。ごみの問題が一番大事だ。
10	■道路の管理について 氷見高校へ上がる坂の途中に家がある、10年前までは非常に景観が良かった。現在は竹が伸びて広がってきて風が吹くと道路(氷見高校1号線)になだれ込んだり、高くなると電線に引っかかったりしてすごく危なく感じている。近所(所有者ではない)で対応できることはやっているが、成長がはやく対応ができなくなっている。市で竹藪をなんとかしてもらえないか。	■建設部長 市道として通る人が危ないようであれば、全部はできないが優先順位をつけて、市道を通る人の安全を確保するというで緊急的に対応できると思う。市道敷については市で責任をもって管理する。